

**「認知症を含む剖検脳を用いた糖、アミロイドベータ、タウ、シヌクレイン、TDP-43  
の脳内輸送代謝系解明のための後ろ向き研究」  
に関する情報公開**

東京都健康長寿医療センターでは、当センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に下記の共同研究を実施します。

本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

●研究の名称

認知症を含む剖検脳を用いた糖、アミロイドベータ、タウ、シヌクレイン、TDP-43 の脳内輸送代謝系解明のための後ろ向き研究

●研究責任者

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

●研究の対象

2001年7月～2023年3月に東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方の内、病理診断によりアルツハイマー病、血管性認知症、筋萎縮性側索硬化症、タウオパチー、シヌクレノパチー、あるいは、中枢神経系に顕著な疾患なしと診断された方

●研究の期間

倫理委員会承認後から2025年3月まで

●研究の目的と概要

認知症を含む神経変性疾患剖検脳を用いて種々の輸送体や受容体の局在を免疫組織化学的に検討し、神経変性の原因タンパク質として想定されているアミロイドベータ、タウ、シヌクレイン、TDP-43 の沈着機序を解明することで、神経変性疾患の治療法や予防法を探索します。

●研究の方法

アルツハイマー病脳、血管性認知症脳、筋萎縮性側索硬化症脳、タウオパチー脳、シヌクレノパチー脳およびコントロール脳のパラフィン切片を用いて、抗体による免疫染色を行い、種々の輸送体や受容体の局在を明らかにします。その陽性所見を統計学的に解析し比較検討します。

●研究に使用する試料・情報

アルツハイマー病、血管性認知症、筋萎縮性側索硬化症、タウオパチー、シヌクレノパチー患者および非神経変性疾患の方の脳組織とそれに付随する診療情報、病理情報

●研究組織

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子  
村山繁雄  
香川大学医学部 炎症病理学 上野正樹(研究代表者)

●お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。  
研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはございません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なお対応ができない場合がありますことをご了承ください。

●問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号  
東京都健康長寿医療センター  
高齢者ブレインバンク/神経病理 齊藤祐子(研究責任者)  
電話 03-3964-3241 内線 4419 (平日 9:00~17:00)